

3. 止め置かれた車両

暫定復旧したのは御影 - 王子公園間の2駅間でしたが、4編成もの車両が搬入されました。



完全復旧をして架線に電気が流れるまでの間は、王子公園 - 六甲間の西半分の線路上に写真のように止め置かれていました。

1両1両保線用車両に押されてここまで運ばれ、この線路上で連結・整備されていました。

それというのも、両駅の間地点である都賀川鉄橋から六甲駅にかけては33パーミルの急勾配であるため、小さな保線車両で押すには力が足らなかったのかも知れません。

上2枚の写真のように、途中で踏切があったりして、編成を4両ずつに分割して置かれていました。

左下が都賀川鉄橋。ここから写真左手に向かって急な上り坂になっている。私の実家はここから北(写真の中では右へ)約5分。



左上：架線にも通電し、自力回送で六甲に集結した車両。

右上：4編成のうち、最後の編成が上り本線上で停止、点検整備を受けているところ。六甲駅の上り通過線上にいる車両と合わせると、堂々の16両編成を組んでいるように見える。

左下：いよいよ暫定復旧による運転開始。字幕がないので、「御影 - 王子公園」での運行標識板を作って中央に掲げています。